

モニタリング結果報告書 (令和4年度)

1. 施設概要

施設名	かながわアートホール		
所在地	横浜市保土ヶ谷区花見台4番2号		
サイトURL	https://www.kanagawa-arthall.jp/		
根拠条例	神奈川県立かながわアートホール条例		
設置目的(設置時期)	県民の文化芸術に関する活動の振興及び福祉の増進を図るため(H20.3)		
指定管理者名	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団グループ		
指定期間	R2.4.1 (2020年) ~ R7.3.31 (2025年)	施設所管課 (事務所)	文化課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>※新型コロナウイルス感染症や原油価格高騰が3項目評価(利用状況、利用者満足度、収支状況)に与えた影響及び対応状況も含めて「総合的な評価の理由と今後の対応」を記載。</p>
<p>利用状況B評価、利用者満足度S評価、収支状況B評価で、3項目評価はAとなった。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら開館を継続し利用状況については目標を達成できなかったものの、例年並みに回復することができた。主催事業のライブ配信を継続して実施し、2万超の視聴回数があることから、来館できない方に向けても文化芸術に親しむ機会を提供できている。 利用者満足度については、設備がきれい使いやすいことや、職員の親切で丁寧な対応についての感想が多く、利用者から施設全体の印象について高い評価を得ていることが窺える。 収支状況については、開館を継続できたことで、収入額はコロナ禍前の水準に回復しつつあるが、光熱費の高騰等により支出額が増加し、収支比率が95.74%となった。 今後も適切な施設管理を行うとともに、様々な主催事業を継続して実施することで、施設の認知度向上と、人々に文化芸術に親しむきっかけを提供してほしい。</p>
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 職員が施設内外を日常的に巡回し、不具合の早期発見に努めるとともに、専門業者による保守点検を実施し、必要に応じて修繕を行った。 基本的な新型コロナウイルス感染症対策を徹底して運営し、主催事業では、来場者数は計7,606人となり、コロナ禍前(令和元年度3,806人)を大きく上回った。 また、主催事業では、ほぼ全ての公演をライブ配信でも実施し、配信視聴者数は23,940人となり、来館できない方にも文化芸術を楽しむ機会を提供することができた。</p> <p>◆利用状況 利用者数は55,719人で目標達成率97.9%となり、B評価となった。利用者数は対前年度比145.7%まで回復し、コロナ禍前の令和元年度の53,497人も上回る結果となった。</p> <p>◆利用者の満足度 6月~8月及び12月~1月に実施し、上位2段階の回答割合が99.4%(満足188人、どちらかといえば満足292人、どちらかといえば不満3人)となりS評価となった。アンケートの実施に当たっては、利用者に幅広く回答してもらえるよう、インターネット回答でも受け付けた。</p> <p>◆収支状況 収支比率が95.74%となり、B評価となった。収入総額は127,393千円となり、コロナ禍前の水準に回復した(令和元年度129,330千円、平成30年度126,843千円)。また、電気及び光熱費の高騰により支出が増加し、支出総額は前年度と比べ12,095千円増額した。その結果、収支差額は前年度から7,074千円減少し、マイナス5,673千円となった。</p>

◆苦情・要望等 野外コンサート時に近隣住民から騒音に対するクレームがあったが、音量の自主規制及び演奏形態の制限の検討、近隣町内会への回覧での周知を行い、その後クレームはない。
◆事故・不祥事等 令和4年度における事故・不祥事等はない。
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。
◆その他 なお、令和4年度の3項目評価についてはA評価とした。今後は、人々に文化芸術に親しむきっかけを提供する取組を継続するとともに、利用者からの要望を踏まえたイベントの実施など、更なる利用の拡大に努めてもらいたい。

3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう。 S:極めて良好 A:良好 B:一部改善が必要 C:抜本的な改善が必要
	A	B	S	

4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	遅滞なし	
現地調査等の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	月報などの記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	県と指定管理者との間で定期的に意見交換会を開催し、施設の管理運営上の課題等を情報共有した。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有	指導・改善勧告等の内容
	無	

5. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<管理物件の維持管理業務> 施設における事故や障害の予防と不具合の早期発見、清掃・警備等の維持管理	○施設・設備の保守点検 職員が施設内外を巡回し、不具合の早期発見に努めるとともに、専門業者による保守点検を実施。必要に応じて修繕を行った。	月例報告や開取り等により、業務は適切に行われていることを確認。
<施設の運営に関する業務> 施設利用の受付・承認・備品類の貸出業務	○受付・案内業務 正確な業務遂行を行い、舞台運営業務との連携を図った。かながわアートホールの新型コロナウイルス感染症拡大予防対策ガイドラインに沿って、施設内の消毒や利用者への感染防止対策への呼びかけを行った。 ○施設利用の承認・利用料金の徴収 窓口における現金又はSuica等による収受、銀行振込により、利用者の利便性を確保しつつ確実な徴収を行った。	月例報告や開取り等により、業務は適切に行われていることを確認。

<p><事業の実施> 県民の方々に文化芸術に親しむきっかけを提供し、アートホールが地域の文化芸術振興の担い手となるような事業の実施</p>	<p>○夏休みファミリーコンサート(令和4年8月21日)。神奈川フィルの室内楽や打楽器ユニットグループのコンサートを開催。(観覧者数204名、配信視聴者数92名、アーカイブ視聴回数2,348回) ○神奈川フィル・ジュニアオーケストラ(令和5年2月12日～3月30日)小学生から高校生の受講生が、神奈川フィル団員による指導や合奏等の練習を経て、神奈川フィルとともに修了コンサートに臨んだ。コロナ禍のため、例年より規模を縮小して実施(受講生16人、観覧者数155人、配信視聴者数57名、アーカイブ視聴回数790回) ○神奈川フィル・カジュアルコンサート(令和5年3月30日)ジュニアオーケストラ修了コンサートと同時に開催(配信視聴者数61名、アーカイブ視聴回数887回) ○吹奏楽ウィーク(令和4年9月23日～24日)吹奏楽団体の利用者が多いことから、吹奏楽のみのホールコンサートを開催(観覧者数857名、配信視聴者数445名、アーカイブ視聴回数14,482回) ○音楽たまたま箱(令和4年6月28日・10月4日)小学生に初めてのホールコンサートを体験してもらうことを目的とした事業(観覧者数4校313名) ○赤ちゃんありがとうコンサート(令和5年2月11日)乳児を持つ親を対象に、ベビーカーをたたまずに親の座席の横に置いてコンサートを鑑賞できる形で開催(観覧者数191名、配信視聴者数22名、アーカイブ視聴回数963回)</p>	<p>コロナ禍で開催中止となっていた事業を感染防止対策を実施しながら復活させたり、前年度に引き続き主催公演をライブ配信するなど、コロナ禍以前の稼働率への回復を目指しながら臨機応変に対応し、人々に文化芸術に親しむきっかけを提供することができた。</p>
---	---	---

※指定管理業務に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
<p>○映画のDVDを上映する「DVD鑑賞会」を毎月開催。 ○野外コンサート4～6月の間に4回程度実施。 ○近隣の中学・高校の吹奏楽部が出演する「梅まつり・吹奏楽フェスタ」を保土ヶ谷公園「梅まつり」に併せて企画。 ○神奈川フィルリハーサル公開を年間50回実施。 ○音楽情報コーナーの運営音楽に関する書籍、CD・DVDの視聴、休憩等ができる施設</p>	<p>○DVD鑑賞会(通年、全15回)映画のDVDを毎月1回程度上映した。(入場者数計2,203人)。 ○野外コンサート(春と秋に開催、全10回)施設利用者や地元で活躍する団体に発表の場を提供(観覧者数1,170名、配信視聴者数154名、アーカイブ視聴回数5,106回)。 ○吹奏楽フェスタ(令和5年2月25日)保土ヶ谷公園の梅まつりと連携し、中学生の吹奏楽部や社会人アンサンブルが演奏、5年ぶりの開催(観覧者数574名、配信視聴者数87名、アーカイブ視聴回数2,601回)。 ○公開リハーサル(通年、全50回)2年間中止していたが、感染対策を講じて再開(観覧者数523名)。 ○音楽情報コーナーの運営 7月より運営開始。</p>

※自主事業に与えた新型コロナウイルス感染症等の影響がある場合、対応状況を含めて、「実施状況等」欄に記載。

6. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性保護施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和4年度
利用者数※	28,513	38,241	55,719
対前年度比		134.1%	145.7%
目標値	56,200	56,700	56,900
目標達成率	50.7%	67.4%	97.9%

目標値の設定根拠： 利用料金収入の目標額を達成するため、施設の稼働率を90%程度と見込んで過去の利用者数から算出したもの。

利用者数の算出方法（対象）： ホール及びスタジオの利用者数と来場者数の合計（ホール及びスタジオは利用者からの申告人数、主催事業等の来場者数は職員がカウント）

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響と対応状況】

（※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載）

①新型コロナウイルス感染症等が利用状況に与えた影響
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
 新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

7. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
		(1) 簡易アンケート 管理施設の窓口に常時用紙を備え、利用者に記入していただくなど、簡便な方法で随時実施するアンケート (2) 詳細アンケート 最低年1回、時期を定めて、より詳細な質問項目のアンケートを、管理施設の利用者等へのアンケート用紙の配布及び管理施設ホームページにおいて実施し、結果を分析するアンケート

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 当館の運営や管理についての総合評価をお聞かせください。

実施した調査の配布方法 用紙配布、ホームページ（右記枚数は、インターネット回答分は含まない）
回収数/配布数 511 / 1,018 = 50.2%

配布(サンプル)対象 貸館利用者及び主催事業の来場者に配布、来館用ロビーに配架及びインターネットでの回答受付

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	188	292	3	0	483	貸館の抽選方法を改善してほしい、椅子の揺れが気になる等の意見があった。
回答率	38.9%	60.5%	0.6%	0.0%		
前年度の回答数	130	103	0	0	233	
前年度回答率	55.8%	44.2%	0.0%	0.0%		
回答率の対前年度比	70%	137%				

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>

【新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が利用者満足度に与えた影響
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況
新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

8. 収支状況

評価	≪評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設≫ 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の主な内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	105,918	16,700	6,181	立替収入・事業収入・雑収入	128,799	128,799	0	
	決算	107,197	11,026	3,505	立替収入・事業収入・雑収入	121,728	115,372	6,356	105.51%
前年度	当初予算	104,354	17,600	6,331	立替収入・事業収入・雑収入	128,285	128,285	0	
	決算	104,354	14,104	3,914	立替収入・事業収入・雑収入	122,372	120,971	1,401	101.16%
令和4年度	当初予算	104,296	17,800	6,181	立替収入・事業収入・雑収入	128,277	128,277	0	
	決算	104,296	16,808	6,289	立替収入・事業収入・雑収入	127,393	133,066	-5,673	95.74%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和4年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

【その他収入の内訳】

- ・前々年度(令和2年度) 決算 立替収入：3,490、事業収入：8、雑収入：7
- ・前年度(令和3年度) 決算 立替収入：3,698、事業収入：204、雑収入：12
- ・令和4年度 決算 立替収入：5,565、事業収入：615、雑収入：109

【新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響と対応状況】

(※当該影響により評価結果がCとなった場合は必ず記載)

①新型コロナウイルス感染症等が収支状況に与えた影響

新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

②令和4年度の対応状況

新型コロナウイルス感染症等の影響に関しては「2. 総合的な評価」欄を参照

9. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備		件		
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容		件		
		件		
その他	電話	2 件	野外コンサート時に近隣住民から騒音に対するクレームがあった。	音量の自主規制及び演奏形態の制限の検討、近隣町内会への回覧での周知を行い、その後クレームはない。

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。